2010年度　早稲田大学　文化構想学部

日本史　解答例

Ⅰ　古代～近代の行政組織　<易>

問１神祇官　問２太政官　問３オ　問４イ　問５エ　問６評定衆

問７ウ　問８ア　問９オ　問10エ　問11内閣

拍子抜けするほど簡単な問題。確実に満点を取ってほしい。「神祇官」の「祇」の左側は「示」と書いた方が無難。ときどき右側の「氏」の下に「一」を書いてしまっている受験生がいる。もちろん不正解である。

Ⅱ　古代～近代の内乱　<易>

問１エ　問２ア・オ　問３エ　問４北条義時　問５後亀山

問６ア　問７オ　問８ア・オ　問９相楽総三　問10ウ

正誤問題が結構あるが、ていねいに解けば全問正解できる。問２・８などの解答を２つ選ばせる問題では完答で初めて正解となる。「相楽総三」は意外と漢字をミスした受験生がいるかもしれない。

Ⅲ　身分の歴史　<やや易>

問１下戸　問２イ・オ　問３五色　問４凡下　問５エ

問６町人　問７ウ　問８平民　問９ア・イ　問10民法

悩まされたのは問６。「町人」という語句がリード文中に存在するため、「町衆」を正解としている可能性がある。「町衆」の定義・出題のポイントは難しいため、もしそちらが正解だとしても気に病むことはない。

Ⅳ　近世～現代の社会経済史　<標準>

問１イ　問２分地制限令　問３ウ　問４ウ　問５イ

問６イ　問７郡制　問８戊申(詔書)　問９エ　問10農地委員会

問６がやや難、問９が難問。早稲田大学では問８のような問題は、あらかじめ解答用紙に「詔書」と書いてあるため、「戊申」だけを記入すればよい。「戊辰」とやってしまった人は注意力不足。

©石黒拡親 2010

講評

全体的に簡単な問題であった。かなり高得点が取れただろう。これを早稲田レベルと勘違いしてしまうと、他学部で痛い目に遭う。

©石黒拡親 2010